



お知らせ

記者発表資料	平成25年 11月12日
配布日	

資料提供先：広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ
岩国市政記者クラブ
岩国日刊記者クラブ

平成25年度「かわまちづくり」計画の登録について
(全国6箇所(内変更1箇所)、広島県・山口県 1箇所)

「大竹和木かわまちづくり」計画が登録されました。

このたび、広島県と山口県、二つの県の間には流れる小瀬川において大竹市と和木町より申請のありました「大竹和木かわまちづくり」計画が、平成25年11月12日付けで登録されました。

「かわまちづくり」とは、地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取り組みです。

国土交通省水管理・国土保全局では、平成21年度から「かわまちづくり」を支援する制度を運用しています。

この支援制度は、地域づくりに資するファローアップ(ソフト支援)として河川敷地占用許可準則の特例措置の実施等や、「かわまちづくり」の推進主体として連携し、まちの空間と融合する河川空間を創出するため、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設を整備(ハード支援)するものです。

記

件名：「大竹和木かわまちづくり」
市町：広島県大竹市・山口県和木町
整備概要：別紙の通り

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所
電話 082-222-9246(計画課)

【担当】

副所長(改修) 湯浅 丈司(内線204)
計画課長 先灘 啓二(内線261)

「大竹和木かわまちづくり」(国、大竹市、和木町)

市町村名: 広島県大竹市、山口県和木町

対象河川: 小瀬川水系小瀬川

1. 概要

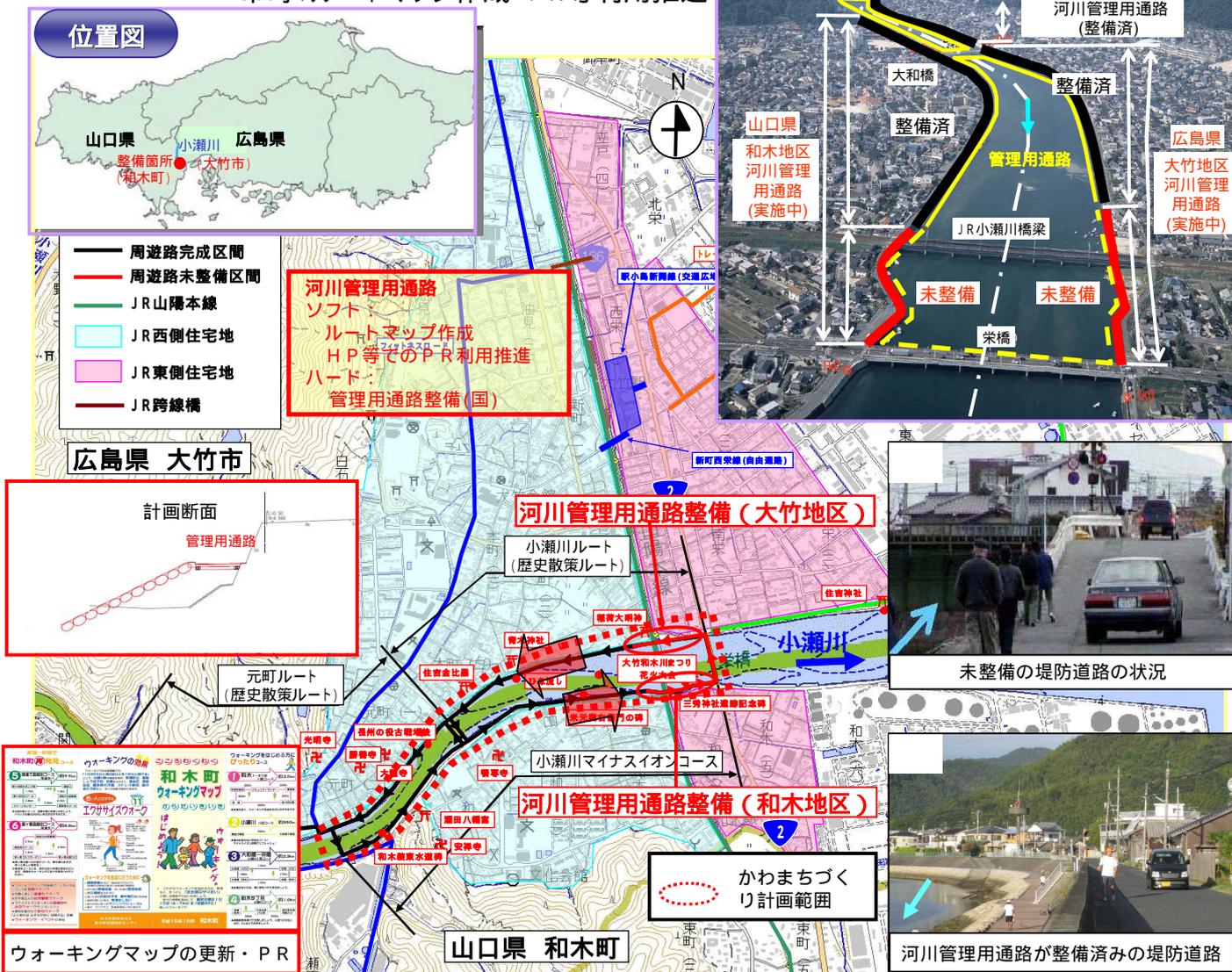
大竹市では、「第五次大竹市総合計画」において重点的な取り組みとして「スイスイワクワク 散歩道プロジェクト」を掲げ、小瀬川沿川では歴史的遺産や主要な見どころを散歩ルートでつなぎ、市民はもちろん、市外の人にも楽しんでもらえることをめざしている。

和木町では、住民の健康増進等を目的とした健康づくり計画「健康わき21」に、兩岸を周遊可能なウォーキングロード「マイナスイオンコース」を位置付けるなど、散策やウォーキング等で地域交流を行い地域活性化をめざしている。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備を兩岸併せて行うとともに、両市町が既存のウォーキングマップ等の更新を行うことにより、南北方向に走るJRや旧道により妨げられていた東西方向の地域間交流が解消されるだけでなく、広島・山口両県を周遊できるルートも確保されることで、地域の活性化を推進する。

2. 整備内容 国:管理用通路整備

市町:ルートマップ作成・PR等利用推進



「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（新規5箇所）

都県名	市町村名	水系名	河川名	計画名	事業主体	計画の概要
あきたけん 秋田県	おおだてし 大館市	よねしろがわ 米代川	よねしろがわ 米代川	ねげと、ちく 根下戸地区か わまちづくり	国土交通省 大館市	大館市では、大館市都市計画マスタープランにおいて米代川を市民にレクリエーションの空間を提供し、うるおいの創出を図る場として位置づけている。根下戸地区は、小学生の環境学習の場としての利用や、地元の釣り大会での利用に加えて、近年では、自治会主体の温泉整備が行われるなど、地域活性化の意識や、河川利用に対するニーズも高い地区である。本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備や高水敷の整正等を行うとともに、大館市が多目的広場を整備を行うことにより、米代川を中心とした豊かな自然や大館の歴史・文化に触れ合い、地域の活性化を推進する。
やまがたけん 山形県	みかわまち 三川町	あかがわ 赤川	あかがわ 赤川	みかわまち 三川町かわま ちづくり	国土交通省 三川町	三川町では、これまでに「赤川河川緑地」を整備し、主にグラウンドゴルフなどのスポーツやレクリエーション、文化活動などの活動の場として利用している。本計画では、国土交通省が河川空間の利活用促進のための河川管理用通路、親水護岸の整備等を行うとともに、三川町が「第3次三川町総合計画」に基づき、現赤川河川緑地の面積を拡張し、防災機能や町民憩いの場・交流活動、健康増進、レクリエーションの場としての多面的な公園の整備を行うことにより、まちと連携・一体となり、地域の活性化を推進する。
ぎふけん 岐阜県	きたがたちょう 北方町	きそがわ 木曾川	いとぬきがわ 糸貫川	きたがたちょう 北方町かわま ちづくり	岐阜県 北方町	北方町では、糸貫川の高水敷を利用した公園整備が計画されており、次世代を担う子供たちの環境学習の場として、川の大切さを学び、愛着心を深め、河川美化・水質の保全の意識の高揚を図っている。本計画では、岐阜県が公園に隣接する区間に親水護岸の整備等を行うとともに、北方町が緑地公園の整備を行うことにより、憩いの場となる空間や自然と触れあう場を創出し、地域の活性化を推進する。
ひろしまけん 広島県 やまぐちけん 山口県	おおたけし 大竹市 わきちょう 和木町	おぜがわ 小瀬川	おぜがわ 小瀬川	おおたけわき 大竹和木かわ まちづくり	国土交通省 大竹市 和木町	大竹市では、「第五次大竹市総合計画」において重点的な取り組みとして「スイスイワクワク 散歩道プロジェクト」を掲げ、小瀬川沿川では歴史的遺産や主要な見どころを散歩ルートでつなぎ、市民はもちろん、市外の人にも楽しんでもらえることをめざしている。和木町では、住民の健康増進等を目的とした健康づくり計画「健康わき21」に、両岸を周遊可能なウォーキングロード「マイナスイオンコース」を位置付けるなど、散策やウォーキング等で地域交流を行い地域活性化をめざしている。本計画では、国土交通省が河川管理用通路の整備を両岸併せて行うとともに、両市町が既存のウォーキングマップ等の更新を行うことにより、南北方向に走るJRや旧道により妨げられていた東西方向の地域間交流が解消されるだけでなく、広島・山口両県を周遊できるルートも確保されることで、地域の活性化を推進する。
みやぎけん 宮崎県	えびのし えびの市	せんだいがわ 川内川	せんだいがわ 川内川	ゆだ、ちく 湯田地区かわ まちづくり	国土交通省 えびの市	えびの市では、南九州の交流拠点都市を目差し、“大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまちえびの”の実現のため、主要施策として着地型観光の推進、スポーツ観光や合宿の誘致等を進めている。湯田地区周辺では、川内川に隣接する県内有数の観光拠点である南九州ココロトリング(株)のグリーンパークえびので年間を通じてスポーツ大会等のイベント開催や、水辺ではカヌー体験会、水生生物調査などで利用されている。更に平成25年4月にえびの市観光の情報発信基地「道の駅えびの」がオープンし、交流拠点として重要な役割を担っている。本計画では、国土交通省が河川管理用通路、親水護岸の整備や高水敷の整正等を行うとともに、えびの市が高水敷周辺の公園整備を行うことにより、高水敷の利用および水辺・水面利用時の安全性と快適性が確保され、周辺施設と連携した観光・交流拠点としての河川利活用を可能とし、地域の活性化を推進する。

「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧（変更1箇所）

都県名	市町村名	水系名	河川名	計画名	事業主体	計画の概要
いわてけん 岩手県	もりおかし 盛岡市	きたかみがわ 北上川	きたかみがわ 北上川 なかつがわ 中津川	もりあかちく 盛岡地区かわ まちづくり	国土交通省 盛岡市	<p>盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において観光の重要な資源と位置付けられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。</p> <p>本計画では、国土交通省が河川管理用通路、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺の整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。</p>

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

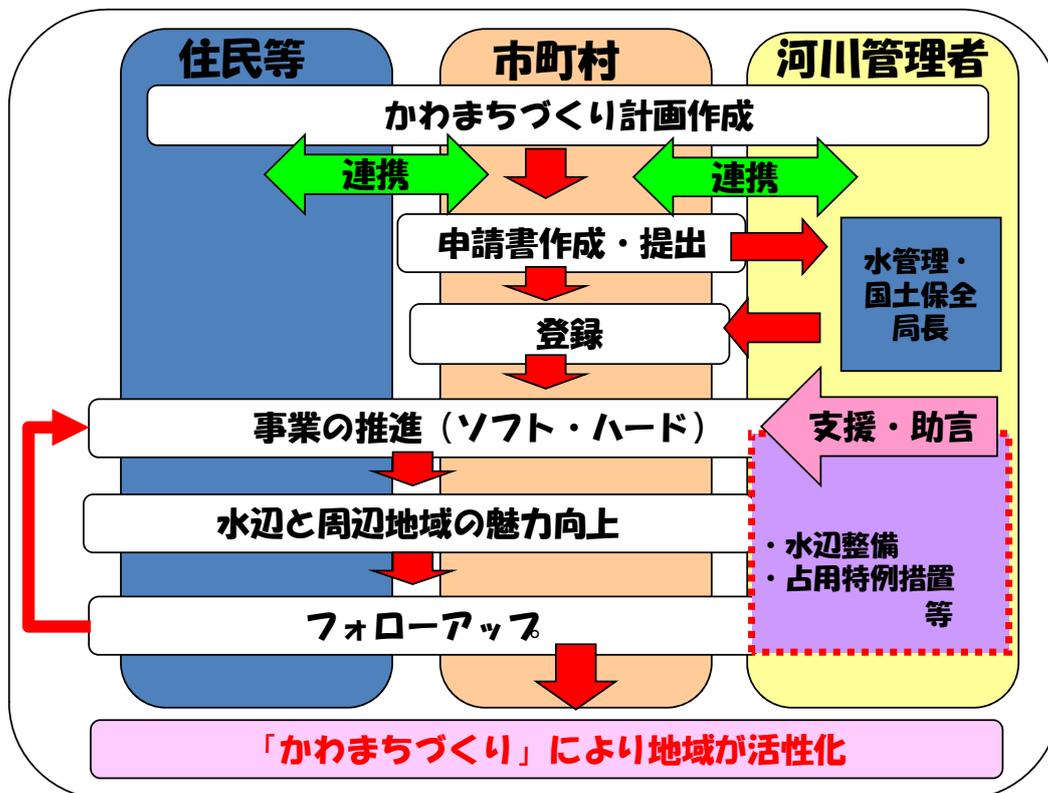
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ